

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名 第2回 権利擁護部会・ 相談支援専門員連絡会	日 時 令和 7年 9月 25日(木) 13:30 ~ 15:00
	会場 伊那市防災コミュニティセンター 多目的室	参加者数 47人
主 テ ー マ	① 開会・挨拶 ② 話題提供「相談支援専門員の取り組んでいること」 ③ 講義「発災前にできること ～普段、どんな準備をしていますか?～」 ④ グループワーク ⑤ その他	
① 開会・挨拶	部会長、連絡会会長挨拶 ② 話題提供「相談支援専門員の取り組んでいること」 サービス等利用計画を立てる際に心掛けていること ・災害についての話題を積極的に提供。 ・支援会議の中で本人含めた関係者と共有する。 ・実際の事例3つ紹介 自宅から近い事業所を避難場所として活用できるか見学/近くの医療機関に避難したいが個別 対応の難しさを実感/発災時に正常な判断ができるか/民生委員に支援会議参加促す/ ・在宅以外の施設や GH に入っている方についても相談支援専門員として考えておく必要がある。 ③ 講義「発災前にできること ～普段、どんな準備をしていますか?～」 ・地域防災コーディネーターの役割は、災害のリスクを把握し伝えることやその地域に危険な箇所がないか 調べること。 ・“災害はすぐそばにある”という意識を持つことが大事。 ・基本的な『一般家庭での準備』を利用者にも当てはめてみる。 ・福祉従事者のできる準備は一つ一つクリアしていく(避難先の確定、個別避難計画のサポート、各機関との 連携など)。支援会議などで確認することで、自分の役割が見えてくる。 ・自宅も避難所になり得る場合もあるが、福祉避難所の情報は本人と共有しておく。 ・利用者の数だけ避難方法がある。伊那市と協定を結んでいる福祉事業所は9つ。 ・R7 年9月台風15号発生に備えた就労継続支援 B 型事業所ころんの取り組みを発表。 ④ グループワーク ・近隣の地域ごと7グループに分かれて意見交換を行った。 ・各グループごと感想発表(一部) ○BCP も作っただけにせず、日頃やっていること、確認していることを記録することの大切さを知った。 様々な事業所の考えが聞けて非常に勉強になった。 ○協定施設としてどのように対応するのか考える必要があると感じた。 ○行政で個別避難計画作成という取り組みがある事を知れたこと。どんなサポートが足りていて、また、 足りていないのか?という事が見えたことが良かった。 ○日常生活の中でつい忘れがちになっていることを思い出させてもらった。時々こういう刺激を受けないと、 後回しにしてしまいがちなので、防災や災害時のことについて話し合う機会があることは大切だと感じた。 ・その他 次回の部会、連絡会を通知。	
ま と め	どういった災害を想定するかによって考えられることは違うが、日頃障がいのある方に関わる立場にある方 や防災に意識を持っている方々に参加いただき、それぞれの立場で考えて共有できる場が持てた。相談支 援専門員としての役割についても改めて考える機会となった。	
次 回	●第3回権利擁護部会:令和8年2月 19 日(木) 13:30～ 場所 まちづくりセンター ●第3回相談支援専門員連絡会(こどもサービス連絡会と合同):令和7年 10 月 14 日(火) 13:00～ 場所 伊那市役所 1 階多目的ホール	